

誠実に！真剣に！  
情熱を持って！

# まさのぶ通信

Vol. 8

発行：おりはら政信市議会議員 山形市沼木863-2 TEL:023-643-5094

2014.3.26

## 東日本大震災三周年追悼復興祈念式！



忘れもしない2011年3月11日午後2時46分、長時間にわたって大きな揺れが続きました。そして、停電。その後は、ガソリンや灯油を求めるために長蛇の列に並びました。一方、被災地3県の様子

やラジオで報道される度に、その被害の甚大さを知ることとなりました。

東日本大震災で亡くなられた方は、震災関連死も含めれば2万人に及び未だ避難生活を余儀なくされている方々は約27万人と云うこととあります。東北の復興はいまだ道半ばであります。

山形市議会は議会開会中でありましたが、休憩をして山形市役所前にて、同時刻、千年和鐘を市川山形市長が打鐘するなか、参加者全員で亡くなられた方々のご冥福と被災された方々にお見舞いの気持ちを込め黙禱を行い、国による追悼式のテレビ映像を流しながら並行して、追悼・復興祈願式を行いました。

## 議員定数・報酬・政務活動を削減、乾杯条例も制定！

今回の3月定例議会では、2月27日に乾杯条例を制定し、即日施行されました。そして3月24日の最終日の本会議では、山形市議会議員定数条例の一部改正、山形市特別職の職員の給与に関する条例の一部改正、山形市議会政務活動費の交付に関する条例の一部改正についてが上程され、全員一致で可決しました。これにより、議員定数は35から33に、議員報酬は67万円から64万円に、政務活動費は月額12万円から10万円に、3つとも削減することに決定し、来年の地方統一選挙から実施となりました。

また、継続審査となっていた公契約条例の制定については、総務委員会が出された継続審査を良しとする人16票、採決をすべきとする人14票で継続審査にすることになりました。私たち公明党山形市議団は、更に行政・企業体・組合(市民)の各三者での意見交換と相互の理解を深める必要があるとの考えから継続審査に2票を投じさせて頂きました。

なお、乾杯条例では山形市内の3つ酒蔵のお酒(男山・秀鳳・霞城寿)で乾杯をして、市民の郷土に対する愛着を深めるとともに、本市の伝統的な産業及び文化の継承並びに地域経済の発展に寄与することとしています。

## 前立腺がん助成が実現！

現在、山形市では市民の方を対象に、40歳より胃・大腸・肺・乳がん検診、20歳より子宮がん検診、(子宮・乳がん検診は2年に一度偶数歳の女性対象)を行っています。がんの多くは早期発見・早期治療が大切です。そうした意味では市民の皆さんからがん検診を受けて貰うということが大切な事ですが、もう一つ受診率が上がっていません。この度の新年度予算に、前立腺がん健診の助成と61歳時無料クーポン券を配布するとして1640万円の新規事業が組み込まれました。詳細は、50歳から通常個人で前立腺がんの健診を受けるとすれば3434円掛かるところを800円で、集団検診では2376円掛かるところを800円で受けることが出来るようになります。また、61歳時に無料クーポン券を配布します。

この前立腺がんは、ある程度年を取ってくると男性にとって大きな悩みとなるものです。女性には特有のがん検診の為に補助があるのに、男性特有のがんである前立腺がんには何故補助が無いのかと言う、素朴な疑問をお聞きし、調査研究をして、昨年の6月定例議会の一般質問で取り上げたものでした。

